

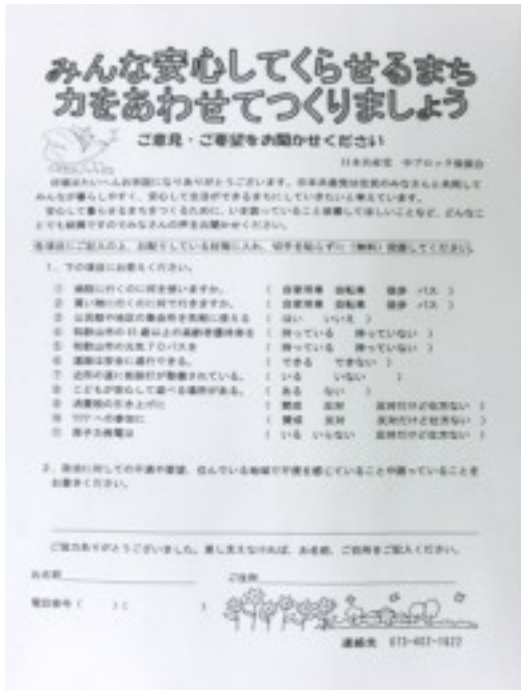
こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< 65 2012.2.12 > 連絡先 402-1622

アンケートにご協力お願いします



いま、「みんな安心してらせるまち力をあわせてつくりましょう」アンケートをお配りしています。すでに返していただいた方々、ご協力ありがとうございました。

「近くにスーパーがないので年配者は困っていると思います」「東日本復旧が遅すぎ。被害が甚大すぎることもあるが手を付けなさすぎ。義援金の使い方にも問題あり」「避難場所の設置と表示を各地区に設けるよう要望します」など、様々なご意見をいただいています。

今後の、活動に生かしていきたいと思えますので、ぜひご協力をお願いいたします。まだお手元に届いてない方は連絡をいただければお届けします。

がどれほど大変か、その一端を少しなりとも感じることのできた視察でした。



楽しい思い出ばかりなのが、本当にありがたいことなんだなと、この頃のニュースを見ていて感じています。

みち子のひとりごと



雪を眺めながら、思い出にふけりました。小学生の頃、運動場に雪山を作り、滑り下りて遊んだこと。結婚してからは子どもと一緒に雪に倒れ込み身体成型をつけて遊んだこと、大人になつた子どもが雪の中を車で出かけ、戻ってくるときに家の近くになつて坂が昇れないというSOSに、大型の雪かきを持って「救出」に行ったこと等々。

2月1、2、3日と、「地震等災害対策特別委員会」の視察で、岡山市と日野町・米子市（鳥取県）へ行って来ました。岡山市の防災対策と、鳥取県西部地震の際の経験を聞き、和歌山市の災害対策に生かそうと取り組まれたものです。

この三日間は、沖縄以外の日本中が、冷凍庫に入ったようにと形容されるほどの寒気に包まれており、日本海側のいたるところで記録的な雪が降りました。日野町や米子市では、特別な大雪ということではないとおっしゃっていましたが、私にとっては、一面の銀世界は特別のものでした。

沖繩防衛局長の「講和」について、しんぶん赤旗2月5日付《潮流》をご紹介します。

日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス。5カ国を比べた表が、日本国民救援会の「救援新聞」に載っています。昨年11月25日付です。

国家公務員の公務外での政治活動について比べています。日本は「全面一律禁止」です。あとの4カ国は「原則自由」。違反した場合に「刑罰」が科せられる国も、日本だけです。

9年前の総選挙の際、自民のある東京・中央区で「しんぶん赤旗号外」を配って逮捕された堀越明男さん。7年前の総選挙の前日、世田谷の集合住宅に日本共産党のビラを配っていた逮捕された宇治橋真一さん。二人とも法にふれる国家公務員の政治活動だ、といつて起訴されました。

驚いたのが国連です。国連の自由権規約委員会は4年前、「逮捕、起訴」に「懸念」し、日本政府に勧告しました。「表現の自由、参政権」に対する不合理な規制の廃止を、と二人は、休みの日に仕事と関係なく、一市民として活動していたのですから。

さて、防衛省の沖繩防衛局長の「講和」です。職員に集まるよう局長が業務で指示し、局長は、普天間基地をめぐる国の立場を説明しながら、宜野湾市長選で棄権しないよう「業務の一環」として訴えていました。どう考えても、役所ぐるみの選挙運動です。

局長をかばう政治家もいます。国の権力機関が業務で選挙運動をして許され、一市民として休日にはビラを配る公務員は弾圧される？無法をはたらく権力が、自分の利益のために人々の人権を奪って恥しくない国なのか、日本は。



学習会のお知らせ

被爆者医療から見た福島
被爆の実相にせまる!!

とき 2月25日(土)16時~18時30分(15時30分開場)
ところ 勤労者総合センター6F(市役所西隣)
参加費 200円(資料代)
講師 郷地秀夫医師

神戸大学医学部卒(広島県広島市出身)
精神科、神経内科、リハビリテーション科、一般内科、緩和医療に携わりながら、被爆者医療に取り組んできた。約250人の被爆者の主治医として、日常健康をたんとするなど、兵庫県で2000人の被爆者医療に関わってきた。

主催：内部被爆問題の学習会を成功させる実行委員会
連絡先：073-436-3520 (県地評内 里崎)